

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月27日		記入者	連絡先	5114
部 名	学校教育部	課 名	教職員課	課長名	小泉 和義
事務事業名	教職員貸与被服購入事業				
予算上の事務事業名	教職員貸与被服購入費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		14120		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				事業開始年度
施 策 名	第2施策 小・中学校教育の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市立学校教職員被服取扱要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
<p>災害発生時に小中学校が避難所としての機能を持つことから、管理職となる新任の校長・教頭に防災用被服を貸与する。その大きな目的としては、防災意識の啓発・高揚や災害発生時の備えを充実させることである。</p> <p>また、平成17年度までは教職員の福利厚生の実施を図るため、被服(トレーニングウェア)を貸与していた(平成18年度から廃止)。</p>			<p>新任校長及び教頭 (平成17年度までは 新採用教員も対象)</p>		
(3) 平成17年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<p>新任校長及び教頭に対し、防災用被服を貸与した(19着)。また、新採用教員に対してトレーニングウェアを貸与した(109着)。</p>					
6 関連・類似事業や他市の状況					
<p>トレーニングウェアの貸与についてはかねてから事業見直しの対象にあげており、平成19年度での廃止を予定していたが、予定を1年早め、平成18年度から廃止とした。県内他市ではほとんどが廃止している。</p> <p>防災用被服については合併による増員を含め、今後とも継続していく。</p>					
7 事業費の推移 <span style="float: right;">〔単位：千円〕</span>					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事 業 費	17,290	1,159	924	864	864
一般財源	17,290	1,159	924	864	864
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	131	132	131	131	131
事業コスト合計	17,421	1,291	1,055	995	995
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	教職員貸与被服購入事業			対象名称 と単位	購入数(着)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	17,421	1,291	1,055	995	995
対象数	1,887	158	128	54	54
単位あたり経費(円)	9,232	8,171	8,242	18,426	18,426
前年度比		0.89	1.01	2.24	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	貸与数(着)	指標式と指標の説明	当該年度必要数－未貸与数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	1,887.0	158.0	128.0		
目標	1,887.0	158.0	128.0	54.0	54.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	対象者への貸与率	指標式と指標の説明	当該年度に必要な着数/貸与着数*100		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]: 良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]: 概ね良好な状況である事業				
	[★★★]: 見直しを行う必要がある事業				
	[★]: 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		トレーニングウェアについては廃止した。防災服については必要なものなので事業を継続していきたい。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 新任校長は、教頭のときに貸与されている者については対象者としな			14 課題として認識されたこと 災害の発生に備え、できるだけ早期に事業を執行する必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			